



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月10日

上場会社名 太陽化学株式会社

上場取引所 名

コード番号 2902 URL <http://www.taiyokagaku.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山崎 長宏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務担当兼企業統括部長 (氏名) 増川 尚利

TEL 059-340-0802

四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	27,634	5.3	1,637	△22.6	1,985	△16.2	1,273	△11.6
25年3月期第3四半期	26,242	2.2	2,116	12.8	2,367	26.8	1,440	35.5

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 1,802百万円 (5.7%) 25年3月期第3四半期 1,705百万円 (90.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	65.05	—
25年3月期第3四半期	73.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	40,074	31,217	76.1
25年3月期	37,462	29,993	78.4

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 30,491百万円 25年3月期 29,371百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	8.00	—	23.00	31.00
26年3月期	—	8.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,300	6.1	2,300	1.0	2,400	△12.6	1,500	△23.6	76.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
詳細は、添付資料P3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項、四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	23,513,701 株	25年3月期	23,513,701 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	3,935,276 株	25年3月期	3,935,191 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	19,578,474 株	25年3月期3Q	19,604,317 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安や株価上昇により輸出関連企業を中心に景況感は回復しつつあるものの、新興国経済の減速等世界経済の下振れ懸念もあり、依然として景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当事業の主要分野であります食品業界におきましては、円安による原材料価格の高騰、エネルギーコストの上昇が続いている中、消費税増税による実質所得の減少が懸念されており、節約志向は依然として強く厳しい経営環境が続いております。

このような環境の中で当社グループ（当社、連結子会社及び持分法適用会社）は、引き続き対処すべき課題として

- ①市場変化への対応
- ②販売の強化（グローバル化）
- ③品質管理体制の維持・強化
- ④環境への取り組み
- ⑤人材育成
- ⑥業務改善による全体最適化

を掲げ、企業価値の向上に取り組んでおります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、276億34百万円（前年同四半期比5.3%増）となりました。営業利益は、原材料価格やエネルギーコストの上昇及び償却費の増加等により16億37百万円（前年同四半期比22.6%減）となりました。経常利益は、為替相場の変動による為替差益の計上により19億85百万円（前年同四半期比16.2%減）、四半期純利益は、12億73百万円（前年同四半期比11.6%減）となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメントの状況は次のとおりであります。

■ ニュートリション事業

医療、健康食品及び飲料業界等にカテキン（緑茶抽出物）、テアニン（機能性アミノ酸）、水溶性食物繊維等の機能性食品素材、ミネラル製剤、ビタミン製剤等を製造、販売しております。

水溶性食物繊維は、欧米市場の医療用途が好調に推移いたしました。

カテキン（緑茶抽出物）は、国内及び米国市場でサプリメント用途が引き続き好調に推移し、米国市場で大幅に増加いたしました。

ミネラル製剤は、国内及びアジア市場で健康飲料・乳飲料用途が好調に推移いたしました。

ビタミン製剤は、国内市場の美容・健康飲料用途が好調に推移いたしました。

テアニン（機能性アミノ酸）は、前年並みに推移いたしました。

この結果、売上高は、48億2百万円（前年同四半期比16.5%増）、営業利益は、5億16百万円（前年同四半期比0.7%増）となりました。

■ インターフェイスソリューション事業

乳製品、飲料、菓子、パン、加工油脂等の業界、及び化粧品・トイレットリー業界等に乳化剤、安定剤等の食品素材、品質改良剤を製造、販売しております。

乳化剤は、化粧品・トイレットリー用途、一般食品用途が好調に推移いたしました。一方で工業用途、飲料用途は減少いたしました。

安定剤は、前年並みに推移いたしました。

この結果、売上高は、90億98百万円（前年同四半期比0.6%増）、乳化剤設備の償却費の増加等により営業利益は、10億88百万円（前年同四半期比9.1%減）となりました。

■ アグリフード事業

乳製品、飲料、菓子、パン、ハム・ソーセージ、即席めん、農産加工業界等に、鶏卵加工品、たん白素材、即席食品用素材、フルーツ加工品、農産加工品等の食品素材、品質改良剤を製造、販売しております。

フルーツ加工品は、ヨーグルト、デザート、パン用途が好調に推移いたしました。

鶏卵加工品は、前年並みに推移いたしました。

即席食品用素材は、製麺用途が好調に推移いたしました。が、ふりかけ用途は減少いたしました。

この結果、売上高は、136億49百万円（前年同四半期比5.0%増）、営業利益は、原材料価格の高騰等により18百万円（前年同四半期比95.2%減）となりました。

■ その他

料理飲食等の事業を行っております。

売上高は、83百万円（前年同四半期比0.1%減）、営業利益は、13百万円（前年同四半期比43.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が前連結会計年度末に比較して26億11百万円増加して、400億74百万円となりました。主な資産の変動は、現金及び預金の増加10億25百万円、受取手形及び売掛金の増加14億82百万円、商品及び製品の増加4億82百万円、仕掛品の減少1億28百万円、原材料及び貯蔵品の減少2億74百万円です。

負債は前連結会計年度末に比較して13億87百万円増加して88億57百万円となりました。主な負債の変動は、支払手形及び買掛金の増加12億47百万円、未払法人税等の増加1億81百万円です。

純資産は、前連結会計年度末に比較して12億23百万円増加して312億17百万円となりました。これは主に、当四半期純利益12億73百万円の計上、その他有価証券評価差額金の増加1億33百万円、為替換算調整勘定の増加2億87百万円、配当金支払6億7百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の78.4%から76.1%となりました。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当社は、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,011,228	5,037,157
受取手形及び売掛金	9,367,142	10,849,501
商品及び製品	2,637,749	3,119,778
仕掛品	430,389	301,607
原材料及び貯蔵品	2,270,326	1,996,088
その他	561,135	626,163
貸倒引当金	△62,679	△66,106
流動資産合計	19,215,293	21,864,189
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,279,851	5,121,806
土地	6,018,165	6,017,862
その他(純額)	2,815,697	2,612,107
有形固定資産合計	14,113,715	13,751,776
無形固定資産		
のれん	93,884	81,692
その他	152,659	154,789
無形固定資産合計	246,543	236,482
投資その他の資産		
投資有価証券	2,659,076	2,941,866
その他	1,268,300	1,315,318
貸倒引当金	△39,965	△35,099
投資その他の資産合計	3,887,411	4,222,086
固定資産合計	18,247,670	18,210,344
資産合計	37,462,963	40,074,534

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,839,972	6,087,475
短期借入金	229,889	284,537
未払法人税等	181,306	362,661
賞与引当金	230,946	170,740
その他	1,401,789	1,232,689
流動負債合計	6,883,904	8,138,103
固定負債		
退職給付引当金	45,074	74,115
役員退職慰労引当金	335,870	357,355
その他	204,567	287,570
固定負債合計	585,512	719,041
負債合計	7,469,416	8,857,145
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,730,621	7,730,621
資本剰余金	7,918,677	7,918,677
利益剰余金	17,121,862	17,811,175
自己株式	△3,533,215	△3,533,273
株主資本合計	29,237,945	29,927,200
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	231,668	365,296
繰延ヘッジ損益	△2,498	7,588
為替換算調整勘定	△95,586	191,646
その他の包括利益累計額合計	133,584	564,531
少数株主持分	622,017	725,657
純資産合計	29,993,547	31,217,389
負債純資産合計	37,462,963	40,074,534

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第 3 四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年12月31日)
売上高	26,242,443	27,634,457
売上原価	20,088,361	21,919,813
売上総利益	6,154,082	5,714,644
販売費及び一般管理費	4,037,874	4,077,530
営業利益	2,116,208	1,637,113
営業外収益		
受取利息	8,653	19,005
受取配当金	32,417	33,834
持分法による投資利益	37,533	—
為替差益	142,025	272,890
助成金収入	22,808	20,871
その他	67,184	63,189
営業外収益合計	310,623	409,791
営業外費用		
支払利息	33,373	27,663
貸与資産減価償却費	12,201	11,077
持分法による投資損失	—	9,793
その他	13,534	13,303
営業外費用合計	59,109	61,838
経常利益	2,367,721	1,985,065
特別損失		
固定資産除売却損	12,879	11,628
その他	861	—
特別損失合計	13,741	11,628
税金等調整前四半期純利益	2,353,979	1,973,436
法人税等	810,551	653,275
少数株主損益調整前四半期純利益	1,543,428	1,320,161
少数株主利益	103,100	46,550
四半期純利益	1,440,328	1,273,610

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,543,428	1,320,161
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,144	131,407
為替換算調整勘定	169,665	270,688
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,716	80,132
その他の包括利益合計	161,804	482,228
四半期包括利益	1,705,233	1,802,390
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,587,590	1,704,557
少数株主に係る四半期包括利益	117,642	97,832

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ニュートリシ ョン事業	インターフェ イスソリュー ション事業	アグリフー ド事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,122,473	9,041,325	12,995,537	26,159,336	83,106	26,242,443
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,122,473	9,041,325	12,995,537	26,159,336	83,106	26,242,443
セグメント利益	512,647	1,197,573	396,467	2,106,688	9,519	2,116,208

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、料理飲食等の事業であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ニュートリシ ョン事業	インターフェ イスソリュー ション事業	アグリフー ド事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,802,918	9,098,881	13,649,594	27,551,394	83,062	27,634,457
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,802,918	9,098,881	13,649,594	27,551,394	83,062	27,634,457
セグメント利益	516,104	1,088,462	18,902	1,623,469	13,643	1,637,113

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、料理飲食等の事業であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。